



小牧幼稚園 園だより 第360号 2020年10月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」
年主題「こころが満たされる」
年聖句「喜びと平和とであなたがたを満たす」ローマ 15 : 13

天候の悪い中、運動会へのご協力ありがとうございました。

4・5月の2か月の空白期間を持ちながらも、9月になり、運動会ムードがみどり組を中心に広がり、昨年9月頃の園庭の雰囲気子どもの中に蘇って、体を活発に動かすこと、外的な要因をもって、心も育ってきたようです。紅白リレーをするのは、僕たちみどり組だ！という、誇りのようなものをこの時期に「やっと」持てるようになったようです。年少から年中へ、年中から年長になる、進級の明確な時期、新入園児を迎える明確な時期を、体験できず、今まで園生活が進んできましたが、遅まきながら、運動会活動を通してそれぞれの学年らしくなってきました。元々、小牧幼稚園の運動会は、入場門もないし、笛の音もならない、先生の号令の下、一斉に動くことが少なく、園生活の中で、この次は、何をしたら良いかを、自分で考え、行動していく運動会です。そのため、新年度を迎えた、4月からの保育でそれぞれが経験・体験し、培われて成長し9月を迎えるのですが、新学期のスタートが遅れ、いつスタートしたのかも、子どもは理解できていない様子でした。子どもは自分が知らない間に、ひとつ上の学年になっていた、そんな感じの、夏までの様子だったと見えました。しかし、暑い夏を過ごし、共にプール遊びを通し、子ども同士の活動が活発になり、また、みどり組はお泊り保育を体験し子ども同士の絆、一体感が芽生え、それが、運動会へと結びつきました。雨の中の運動会での紅白リレーは、みどり組以外の親からも、涙が出そうでした、とのお話を聞き、あお組（年中組）、もも組（年少組）も上の学年の姿・競技を見て来年は私たちがあの競技をするのだ、との来年へ繋がっていく、自覚が芽生える時を持ってました。コロナに負けないで、やっと子どもたちが戻ってきました。例年のように、親子競技や、親だけの競技など不十分なプログラムの中での運動会でしたが、子どもたちにとっては、運動会当日を含め、その前後の幼稚園生活の中で、例年通りの環境を整えることができ、9・10月の体験が出来ました。雨の中、最後まで、子どもたちのために、ご協力頂きありがとうございました。

☆収穫感謝祭について

今年も11月第一週に収穫感謝祭を行います。家庭より、野菜・果物を持ち寄って頂き、礼拝をして、例年ですと、お向かいの老人保健施設「豊寿苑」へみどり組がお土産をもって、お年寄りとの交流の時間を持つのですが、今年はコロナ過のため訪問が叶わなくなりました。

収穫感謝祭の云われは諸説あるようですが、1920年9月、イギリスの清教徒がメイフラワー号でアメリカ大陸に上陸しましたが、最初の1年は慣れない土地での生活は困難を極め、多くの人が病気と飢えで亡くなりました。翌年、先住民たちから、その土地に適した種を貰い、植え方を教えられ、豊かな収穫を得ることが出来ました。清教徒たちは、神に祈り、感謝し、先住民たちにも感謝し仲良く、食事をしたのが始まりと言われます。残念ながら、後からアメリカ大

陸に入った、白人系の人たちに富が集まり始め、先住民族やアフリカから労働力として、連れてこられた人たちに対しての差別が始まりました。また、隣の国との間に壁を作るなど、白人以外の人たちへの差別がひどくなり、今行われている、大統領選挙の様子も、相手を嘲り罵り合い、銃も持ち出し、とても先進国とは思えない国になってしまいました。子どもの頃は、みんな仲良しなのに、大人なるにつれ、富を得るにつれて、人は変わるのでしょうか。この機会に、子どもたちとともに、人と人が仲良くなる意味を考えていけたらと願います。

11月の給食メニュー

11月	5日(木)	チキンライス	果物
	6日(金)	カレーライス	果物
	10日(火)	デニシュパン	ソーセージ 果物
	12日(木)	けんちん汁	わかめご飯 果物
	13日(金)	味噌煮込みうどん	果物
	17日(火)	クロワッサン	鶏の唐揚げ 果物
	19日(木)	鶏ごぼうご飯	果物
	20日(金)	麻婆豆腐ご飯	果物
	24日(火)	デニシュパン	ソーセージ 果物
	26日(木)	五目雑炊	果物
	27日(金)	ミートソーススパゲティ	果物

*食材の都合により、変更もあります。

☆ミンダナオ子ども図書館とは？

今年ではできませんでしたが、毎年、バザーの収益から献金しています「ミンダナオ子ども図書館」はミンダナオで、戦争孤児や崩壊家庭など極貧で勝つ不幸な子どもたちを対象に、読み聞かせ、スカラシヨップ、医療、保育園建設、植林、緊急避難民救済、など行っているフィリピン政府公認の現地 NGO・特定非営利法です。立ち上げたのは、松井友さんで、お父さんは以前「福音館書店」の社長で、絵本の世界では著名な人でした。福音館書店は1916年にカナダ人の宣教師により金沢で創設され、戦後は東京に移り、キリスト教以外の本も出版されるようになりましたが、私には、「福音館書店」イコール、松井直さんで、編集長・社長、なられて、絵本を多く出されるようになりました。その息子さんが現在も内乱中のミンダナオで、子どもたちのために活動しています。数年前、小牧にもお呼びしてお話を頂きました。その縁もあり、毎年、献金をしています。興味のある方はぜひ、ホームページをご覧ください。ミンダナオ島での子どもの生活に、衝撃を受けることでしょう。

☆天気にも恵まれ、遠足に行ってきました。やっと日常の、園生活が戻った感じでした。子どもたちも、小牧山を縦横無尽に走りまわって、本当に楽しそうでした。

☆令和3年度の入園受付は、終了しました。

☆今年度のバザーは、残念ながら、コロナ感染の不安があるため中止としました。来年、皆様にお会いできること楽しみにしています。